

【開口顔パーツに上から口デカールを貼る為の簡単カスタム2】

表情のバリエーションを作るのに口の形はとても重要なので、開口している口造形の顔パーツに違う形の口デカールを貼れる様にデカールの端の不要な部分と水性木工用ボンドで作った紙ペーストで口を埋める方法を去年考えました。

ところがその後ハイキューパーツさんの印刷用紙が変更になりまして、その新用紙だと紙質の違いで表面がなめらかに仕上がらないんですね。表面がツルっとした仕上がりになっていないと、上から口デカールを貼った時に下地の凸凹が出てしまうのです。そこで身近にある何か別のものを…と考えて実験した結果、捨てる前のトイレトペーパーの白い芯が良かったです。ティッシュペーパー・キッチンペーパー等の薄手の紙も試したんですが、柔らかいペーパーだと水分を吸収しすぎて乾いた時に体積が減りすぎてしまうので、やはり厚紙の方が向いています。

新用紙はデカールが薄くなったので貼った先の凸凹を拾いやすく、今回の方法でも表面のなめらかさがもうひとつ足りない感があるので今後も模索していこうと思います。また良い方法が見つかったら説明書を更新しますね(´▽`)

【用意する道具】

- トイレトペーパーやキッチンペーパーの白い芯もしくは厚さ1mmくらいの白い厚紙
- 厚紙を切る為のハサミ
- 水性木工用ボンド（コニシ水性木工用ボンド 50g ヨドバシ税込価格 126円 速乾タイプでももちろんOK。）
- タミヤ 調色スティック 2本セット（ヨドバシ税込価格 346円）
- デカールフィクサー / デカールのり（税込価格 374円）
- つまようじ、綿棒
- 水と水を入れる容器

口造形をパテや樹脂で埋めるとプラモデルと癒着して元の状態に戻せなくなるので、いつでも元の状態に戻せる方法として水性木工用ボンドで作った紙ペーストで埋めます。水性木工用ボンドはプラモデルを溶かしたり浸潤したりしないので、乾いても水を含ませれば簡単に取れます。紙ペーストの形を整えるのに指だとくっついてきてしまうので、形と大きさにベストな用具として「タミヤ調色スティック」を使用します。



今回の実験ではメガミ愛花ちゃん的笑顔パーツをチョイスしました。

口の造形が浅めだと口デカールをそのまま貼れるものもあるのですが、この顔パーツの口の造形は深さがあるのと中が平坦じゃない事から貼り込むのに向いていない為、半分だけ埋めて口の形を生かしたものと全部を埋めた2パターンを作ってみます。



① トイレトペーパーやキッチンペーパーの白い芯もしくは白い厚紙をハサミで小さく切ります。



② カットした厚紙を水に漬けてふやかします。15分ほど放置。



③ 水性木工用ボンドを水で溶いてボンド水を作り、ふやかした厚紙を小さくちぎってボンド水と混ぜて厚紙ペーストを作ります。



④ 水性木工用ボンドの原液をつまようじに付けて、開口している口造形の中に塗り込みます。



⑤ ③の厚紙ペーストを口の中につまようじで押し込んで詰めていきます。口が塗装済の場合はつまようじで削らないように注意。



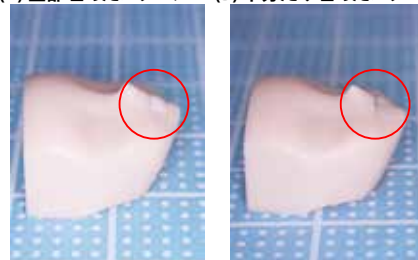
⑥ 調色スティックで⑤を更にぎゅうぎゅう押し込んで、余分な水を外に出しながら表面が出来るだけならかなになるように形を整えます。

R66 製作 愛花ちゃん通常版用デカール



⑧ 6時間放置したら水を馴染ませた口デカールを軽く乗せて、水分が蒸発して体積が減った厚紙ペーストの表面がガタガタしていないか、ペーストが口からはみ出して見えないかチェックします。いまいちな箇所があればボンド水を足してペーストの量を微調整したりガタガタしているところをなだらかに整えます。更に6時間放置して、水分が完全に抜けるのを待ちます。

(A) 全部埋めたパターン (B) 半分だけ埋めたパターン



⑦ 紙ペーストが口よりも外にはみだすと口デカールを貼った時に見えてしまうので、口の範囲から出ないように注意します。中央は乾くと体積が減って凹んでしまうので、その分を見越して少し多めに盛り付けておきます。形が整ったら水分が乾かす為に6時間放置します。

最後に口デカールの接着力を補強する為にデカールフィクサーを多めに紙ペーストの上に塗り、口デカールを貼って水を軽く含ませた綿棒で沿わせて完成です!!